

国際文化政策研究教育学会・京都市民大学院「2020 文化政策セミナー」ご案内

事務局：京都市民大学（岩田均・金井萬造・白石智宙・十名直喜・中谷武雄）

10月24日（土） 14：00－17：00 働学研オンライン研究会公開ゼミ（Zoomで開催）

テーマ：コロナ禍の地域・産業と仕事・研究の課題

主催：働学研（博論・本づくり）研究会 司会・運営：十名直喜

働学研は、2019年7月第1回を皮切りに、月例会13回、博論検討会3回、書評会他1回、計17回開催してきました。多様な思いや目的を持った方が参加され、会員も30名にのぼっています。博士論文をめざしたい、本にまとめて出版したい、冊子や論文をまとめたい、仕事や生活に向き合い研究したい等々。文化セミナーとして公開開催としています。興味をお持ちの方は、気軽にご覧いただければと思います。

<資料報告> 報告時間10分/本メド（15分/本以内厳守）、討論重視

- 1 濱 真理「本審査博論の見取り図と工程表—予備審査での指摘をふまえて」
- 2 程 遠紅「中国における生活ごみの分別問題—京都市の調査をふまえて」
- 3 包 薩出栄貴「内モンゴルの地域・産業と観光政策—SDGs視点をふまえて」
- 4 三輪昭子「フェアトレードの自前主義は企業のCSRを構成するか」
- 5 小林伸孝「事業所分散型企業組合の協同の問題点」
- 6 小野 満「競争における情報の役割」
- 7 太田信義「自動車産業にみる技術大変革と対応戦略」

<口頭報告>

出席者各位「仕事・研究などの状況と問題意識」（岩田、富澤、中谷、十名ほか）

10月25日（日） 13:00-16:30 文化政策セミナー2日目（Zoomでも開催）

テーマ：高山（岐阜）・遠野（岩手）・住田（岩手気仙）からの取り組みに学ぶ

京都市民大学院の取り組みから、各地での取り組みがそれぞれに地域状況に対応して、発展し拡大している。高山では地域で大学づくりに取り組み、遠野では地域創造の新たな取り組みがされ、住田・気仙ではふるさと創生大学の取り組みが進行している。京都と3地区を結びオンラインで交流する。

○高山タイム：13時から14時、コーディネーター及び司会：紅谷正勝様

- （1）大学創設等に関する報告：井上博成様
- （2）質疑応答・意見交換
- （3）補足：紅谷様、谷口様

サポート：岩田均

○遠野タイム：14時から15時、コーディネーター及び司会：浅沼亜希子様

- （1）遠野市での最近の取り組み報告：浅沼亜希子様
- （2）遠野ハンドクラフトプロジェクト報告：越智和子様、佐藤智江様
- （3）素づくり亭フォーラム報告：菊池貴久子様
- （4）意見交換

サポート：金井萬造

○住田タイム：15時から16時、コーディネーター及び司会：藤井洋治様

- （1）ふるさと創生大学の取り組み報告：千葉修悦様
- （2）体験学習等の報告：藤井洋治様
- （3）書道教室の報告：阿保和子様
- （4）行事参加者の感想・意見交換

サポート：佐藤勝幸様、金井萬造

○池上惇先生がご参加頂ける場合は、ご挨拶があります。

【注意事項】

コロナ感染症対策として、両日とも、オンライン（Zoom）で対応します。

ホスト役は京都市民大学院事務局・白石智宙です。

参加希望者は、Zoomの参加用URLまたはIDおよびパスワードをお教えしますので、市民大学院事務局白石智宙（shiraishi@bunkaseisaku.jp）までご連絡ください。

なお25日（日）につきましては、京都市民大学院成徳学舎セミナー室でのご参加も歓迎します。

ただしコロナ感染症対策には各自で十分にご注意下さい。（24日はセミナー室は利用しません。）

『国際文化政策』第10号、間もなく発行予定です。今しばらくお待ち下さい。

来年、研究交流新年集会、間もなく詳細を発表します。ご期待下さい。